

< 第1回 成果文書 >

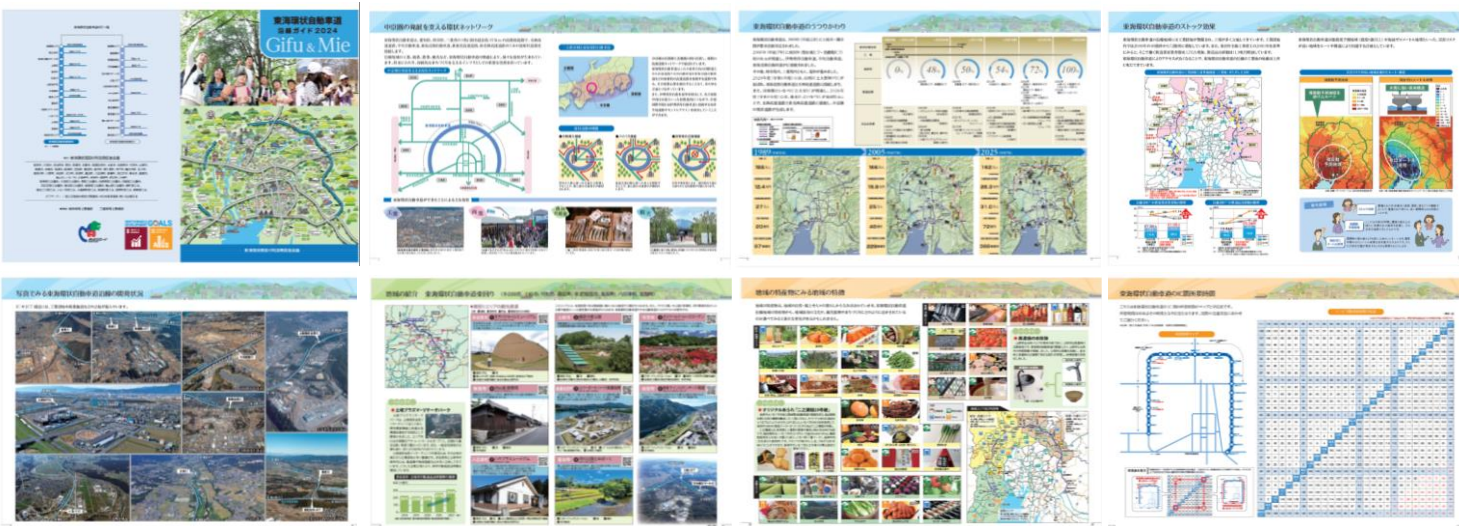
インフラを賢く使うまちづくりのための東環利活用会議活動指針(平成28年7月)

- 1 東海環状自動車道の利活用に関する取り組み
広域道路ネットワークの利活用状況や東海環状自動車道西回りが地域経済に与える効果を把握し、情報共有を図ることで、的確なまちづくり計画策定や更なる民間投資に繋がります。
- 2 インフラ整備のストック効果に関する取り組み
アクセス道路や地域開発計画に関して情報共有を図り、更なる民間投資の需要を喚起するとともに、インフラ整備を見据えたストック効果を継続して把握し、同種の新規事業に期待される効果の予測に繋がります。
- 3 各種広報啓発活動等の実施
インフラ整備のストック効果の情報提供活動を推進し、新たな地域開発に対する理解の醸成や、まちづくりに関する取り組みに対して容易に情報が検索できる仕組みを整備し、来訪しやすい環境を整えることで地域の活性化に繋がります。
- 4 工業、商業、農業、観光等の幅広い「生の声」の把握
企業等の「生の声」を把握し、適切に対応することで企業等の生産性向上に繋がるとともに、関係機関が連携・協力し、まちづくりの課題解決に取り組み、より良い地域を目指します。

< 取組報告 >

ガイドブックの作成 ～背景・コンセプト～

- このパンフレットは、令和4年度より岐阜県と三重県の沿線地域の情報を一体的に発信するツールとして作成してきたもの。
- 背景として、東海環状自動車道に関する住民アンケート結果から東海環状自動車道沿線の「地域情報」が少ないとの指摘があり。
- 旅行前の一次情報として活用して頂くことを目的に、東海環状自動車道の成り立ちや整備効果、地域資源・特産物の紹介など、子どもや大人の「学び」を意識した構成としている。
- 「地域情報」×「道路情報」を織り込んで発信することで、沿線市町の地域魅力を多くの方に知ってもらうツールとして活用。



【第5回東海環状西回り利活用促進会議 参加機関】

代表理事：三重県、岐阜県

理事：(17市19町)岐阜市、大垣市、多治見市、関市、羽島市、美濃加茂市、土岐市、各務原市、可児市、山県市、瑞穂市、本巣市、海津市、岐南町、笠松町、養老町、垂井町、関ヶ原町、神戸町、輪之内町、安八町、揖斐川町、大野町、池田町、北方町、富加町、八百津町、四日市市、桑名市、亀山市、いなべ市、木曽岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町
(9経済団体)岐阜商工会議所、大垣商工会議所、羽島商工会議所、桑名商工会議所、柿町商工会、桑名三川商工会、いなべ市商工会、東員町商工会、朝明商工会

協力機関：名鉄観光サービス(株)

オブザーバー：国土交通省中部地方整備局、中日本高速道路(株)名古屋支社



約100名が参加

第5回 東海環状西回り利活用促進会議

< 議事次第 >

1. 開会挨拶
三重県 県土整備部長
いなべ市長
2. 開催地挨拶
東海環状西回り利活用促進会議事務局
中部地方整備局 岐阜国道事務所
中部地方整備局 北勢国道事務所
名鉄観光サービス株式会社
営業戦略推進本部地域活性化推進部 福井部長
3. 取組報告
いなべ市、海津市、本巣市、岐阜市
いなべ市商工会、岐阜商工会議所
4. 事業報告
岐阜県 県土整備部次長
5. 話題提供
6. 意見発表
7. 閉会挨拶

◇日時：令和6年11月11日(月) 13:30～15:15

◇場所：いなべ市 北勢市民会館 さくらホール

第5回 東海環状西回り利活用促進会議 開催概要

＜開会挨拶＞ 三重県 県土整備部長 若尾 将徳 氏



◇今年度は岐阜県側と三重県側の2区間が開通する予定ですが、いよいよあと半年に迫っています。
◇東海環状自動車道は地域活性化のための手段であります。全線開通したからといって地域活性化が達成するわけではありません。東環を活用して地域を盛り上げていくためには 皆様と連携しながら活動していくことが必要であると考えています。

＜開催地挨拶＞ いなべ市長 日沖 靖 氏



◇岐阜県さんと初めて高速道路で繋がるということで、物流面では非常に期待をしております。30年以上前から、東環が開通することを前提に企業さんに来ていただいています。
◇北勢ICからいなべICに名称を変えていただきまして、今後、プレイベント、自転車での渡り初めを企画しているところです。

＜閉会挨拶＞ 岐阜県 県土整備部 次長 平野 昌彦 氏



◇話題提供では東海環状自動車道全線開通がもたらす、中部圏へのインパクトについて、大変貴重なお話をいただき、期待がますます高まったところです。
◇今後もこの会議などを通じまして、東海環状自動車道の必要性や期待される効果を大いに発信し、全線開通に向けた機運をさらに盛り上げて参りたい。

＜事業報告＞

（中部地方整備局 岐阜国道事務所 所長 松實 嵩博 氏）



◇東海環状自動車道では、現在、多くのストック効果が発現しています。本日お集まりの皆様方につきましては、それぞれのお立場で、企業立地、まちづくり、観光等で東海環状自動車道を活かした取組を推進していただければと思います。

（中部地方整備局 北勢国道事務所 所長 長谷川 裕修 氏）



◇東海環状自動車道の整備により「工業団地への企業進出を促進」、「港湾事業と道路事業の相乗効果」および「観光需要の拡大」の効果が現れてきています。令和6年度開通の大安IC～いなべIC間につきましては、今年度末の供用を目指して、工事が順調に進んでおります。

＜話題提供＞『東環全線開通が中京圏にもたらすインパクト』

名鉄観光サービス株式会社 営業戦略推進本部 地域活性化推進部 部長 福井佳代 氏



◇名古屋圏を囲むような環状線が整備されることによって、「バイパス機能を活かしたスムーズな移動」や「非常時の迂回移動」が可能になります。道路の選択肢が増えること、有事の際に迂回ができることは、非常にありがたいです。

◇厚生労働省のもと、バス運転者の労働時間の基準が改正されております。運転手の拘束時間が限られている中で、いかに時間を短縮するかが重要です。高速道路があることで、安定して時間が読めるようになったり、迂回ができたりすることで、行程が組みやすくなります。

◇インバウンド向けの「昇龍道フリーバスきっぷ」が年間何万枚と売れています。中部内においては、高速バスで移動しているインバウンドの方が非常に多いです。今日は高山、今日は伊勢という形で、広域観光を楽しんでおられていて、私たちが考えるよりも長い距離を移動しています。こういった切符が売れるためには、高速道路や高速バスが不可欠となっています。

◇名鉄グループでは、地域公共交通を維持するために、地域のバス会社と一緒に、路線バスを活用した観光を提案する「みつけたび」という取組みを行っています。路線バスだけでなく都市間高速バスも取り入れた商品開発を実施しており、地元の方だけでなく、インバウンドの外国人にも利用してもらっています。

◇個人で旅行ができる時代に、旅行会社はお得な体験、特別な体験を提供していくことが必要です。特別な体験の提供において 高速道路による移動の安定感は必要不可欠です。

◇東海環状自動車道の全線開通の効果として「顧客の増加」、「混雑の緩和」、「新規ビジネスの立地」および「大規模イベントなど交流の場の増加」が挙げられます。効果を十分発揮させるためには、開通タイミングにおいてしっかり情報発信をすることが重要です。

＜意見発表＞

三重県 いなべ市 建設部 部長 太田 東洋氏



◇東近江市の山脇製菓さんと連携して、いなべ市の特産品である石榑茶を使った「お茶のぶさんのかりんとう」、海津市の日比あられさんと連携して、いなべ市のもち米を使ったあられを作りました。このように、交通の利便性が高まることで隣接市と交流がしやすくなり、新たな連携事業が生まれ、地域活性化につながると考えています。
◇本市は、自動車関連メーカーをはじめ多くの企業に進出していただいています。現在整備中の東海環状自動車道により、いなべ市の魅力と可能性は益々高まり、より多くの交流や 更なる投資が期待されています。

岐阜県 海津市 都市建設部 部長 伊藤 隆八氏



◇既存企業からは、会社からICまでの距離が短縮されるため、通勤が便利になること、業務効率の向上が期待される等との声をいただいております。また、基幹産業の一つである農業では、青物など、足の速い農作物の鮮度確保に寄与するほか、新たな販路拡大などが期待されます。
◇西回り区間が開通しアクセス性の向上により、関西方面や三重県方面からの時間短縮効果が得られるほか、沿線自治体と連携し、点在する観光資源を回遊するなど、観光客の増加が期待されます。

岐阜県 本巣市 都市建設部 部長 高橋 君治氏



◇東環の本巣PAと都市公園「もとまるパーク」の連結を整備中。高速道路を出ることなく公園が利用できることとなり、高速道路を利用する遠方の方々にも本市を知っていただくチャンスと捉えています。
◇全線開通することで、海のない岐阜県が四日市港とつながり、更なる産業・経済の発展に期待できます。今後 最大限に効果発揮するためには、ICやPA、それらを有機的につなげるアクセス道路が必要不可欠だと考えており、都市計画道路や市道の整備を進めています。

岐阜県 岐阜市 基盤整備部 部長 岡本 武彦氏



◇今年度末にはいよいよ、本市の本格的な玄関口となります岐阜ICの開通を迎え、大変期待をしております。
◇東環のストック効果を最大限に活かすまちづくりとして、岐阜IC周辺にある岐阜大学と同大医学部附属病院に加えて、岐阜薬科大学のキャンパスの移転統合による学術研究拠点の形成、岐阜三輪IC周辺における農業の6次産業化拠点としての企業誘致、岐阜三輪スマートICの北側に隣接している岐阜ファミリーパークの再整備による総合スポーツ公園化に取り組んでいます。

いなべ市商工会 事務局長 田中 哲也氏



◇三重県の北の玄関口に位置する「いなべ市」は、北に養老山地、西に鈴鹿山脈があり、中央を流れる員弁川を挟んで田園地帯が広がる緑豊かなまちです。全国住み良さランキングでは、各調査において県内上位に選ばれています。
◇近年新たな施設が開業する中、市北部にある農業公園が令和8年度以降を目標にキャンプ場、宿泊施設、レストランを新設する予定と聞いており、市内のあらゆる場所で活性化が図られ、益々魅力ある地域となつてきます。東海環状道路「いなべIC」が開通することによりさらなる集客が期待できます。

岐阜商工会議所 専務理事 森 健二氏



◇今まで岐阜市中心部へのアクセスは、市の南側に集中していましたが、新たにできる岐阜ICは市の北部にあり、北の玄関口ができる意義は大きなものがあると考えています。
◇よく「東海三県」と言われますが、地域的には1つのグループでありながら、岐阜県と三重県間は交通面ではつながりが悪く、現状、行き来はほとんど名古屋経由となっています。それが高速道路で直接つながることの意義は近くなることです。三重県様とは、経済面、観光面でも連携できる機会が飛躍的に増加することを心から期待しています。

中部地方整備局 道路部 部長 望月 拓郎氏



◇東海環状は年度内の開通を目標に工事を進めているところですが、着実に供用できるように、安全を第一にNEXCOさんとしっかりと連携して事業を進めていきたい思っております。引き続き、よろしくお願いします。
◇東海環状自動車道を含めて、中部地方整備局管内で今年度供用を予定している路線が計42.6kmございます。近年で見るとまとまった延長が供用する年となっております。そのような中で、NEXCOさんとも連携して、「つながる中部42.6km」というプロジェクトを進めておりまして、ホームページをはじめ、様々なところで、展開しています。

中日本高速道路株式会社 名古屋支社 建設事業部 部長 落合 孝朗氏



◇東海環状の開通効果は利便性向上だけではなく、地域の産業経済・観光の振興、防災機能の強化など、多岐にわたると思います。また 全線開通をしますと、岐阜県と三重県が初めて高速道路で繋がり、新たな地域間交流も期待されます。
◇弊社の「速旅」は、例えば、関西方面からのお客さんを東海環状の区域内に呼んで、周遊していただく等、企画割引を実施するためのツールです。開通を機に、ぜひ皆さんと連携できればと思います。